



Tourism Resilience

第1章 観光レジリエンスサミットの概要

1. 観光レジリエンスサミットとは



- 会議名称 Tourism Resilience Summit
観光レジリエンスサミット
- 開催日程 11月9日(土)～11日(月)
- 主催 観光庁
- 協力 世界観光機関 (UN Tourism)
- 会場 仙台国際センター、伝承千年の宿 佐勘(以下「佐勘」という)
- 参加者 アジア・太平洋地域の10か国、7つの国際機関合わせて約100名
- テーマ 自然災害やコロナ等の危機に対する観光分野の強靱性(レジリエンス)の強化
※ アジア・太平洋地域の枠組みにおいて、観光レジリエンスをテーマにした初めての閣僚級会合
- 開催地選定の背景 仙台市が東日本大震災からの復興に取り組んでいること、2015年に開催された第3回国連防災世界会議において「仙台防災枠組 2015-2030」が採択された地であることなど

□ ロゴマーク（観光庁作成）



- ▶ レジリエンスの「回復力」と「強靱性」がもたらす無限の可能性により、観光における活力が再生し、途切れることなく循環し継続していくよう願いが込められています。
- ▶ 複数の線は、観光レジリエンスに関わる人々・組織をはじめ、さまざまな関係者がこの問題に取り組んでいく強い意志を表現しています。



議長 ④ 日本 齊藤鉄夫 国土交通大臣

開催市 ③ 仙台市 郡和子 仙台市長

参加国

- ② フィジー ヴィリアメ・ンガヴォカ 副首相 兼 観光・航空大臣
- ⑥ マレーシア ティオン・キン・シン 観光・芸術・文化大臣
- ① パプアニューギニア ベルデン・ノルマン・ナマ 観光芸術文化大臣
- ⑦ ラオス ダラニー・ポムマヴォンサー 情報文化観光省 副大臣
- ⑫ 韓国 キム・ジョンフン 観光政策局 局長
- ⑬ 東ティモール アントニオ・ダ・シルバ 観光・環境省 局長
- ⑭ パラオ クリスチャン・ニコレスク 在京大使館 公使

国際機関等

- ⑪ フィリピン ニエル・バレステロス 在京大使館 アタッシェ
- 中国 ワン・ウェイ 在京大使館 アタッシェ ※歓迎レセプション、昼食会、エクスカーションに参加
- ⑤ 世界観光機関(UN Tourism) ゾリッツァ・ウロセヴィッチ 上級部長
- ⑮ 世界観光機関(UN Tourism)駐日事務所 本保芳明 代表
- ⑩ 国連防災機関(UNDRR)神戸事務所 松岡由季 代表
- ⑯ 太平洋アジア観光協会(PATA) パベンシュ・クーマ 持続可能性・研究部長
- ⑧ 日本観光振興協会 富田哲郎 副会長
- ⑨ 日本旅行業協会(JATA) 高橋広行 会長
- ⑰ 日本政府観光局(JNTO) 蒲生篤実 理事長

3. 会合日程

日時		行事		場所
		観光庁主催	仙台市主催	
1日目 11/9 (土)	午前	二国間会談（随時）	AOBAYAMA MORNING サミット開催記念講演会	青葉山公園 仙臺緑彩館
	午後			仙台国際センター
				歓迎レセプション
2日目 11/10 (日)	午前	二国間会談（随時）		仙台国際センター
	午後			仙台国際センター
			公式エクスカージョン （1泊2日の1日目）	公式エクスカージョン （半日）
3日目 11/11 (月)				東北各地



日時: 11月10日(日) 9:15~12:15

会場: 仙台国際センター展示棟 展示室2、展示室3

閣僚級会合では、自然災害やコロナ禍を経て、観光分野の脆弱性が浮き彫りとなるなか、観光の抱えるリスクによる経済・社会への影響の増幅が予測されるため、観光レジリエンスという概念の重要性が再確認されました。

観光産業の復興・回復にかかる各国および関係機関の取り組みや経験、知見の共有と議論が行われ、観光レジリエンスの向上に向けた今後の取り組みの方向性をまとめた共同声明(「仙台声明」)が採択されました。(全文は資料集に掲載)

□ 仙台市長による基調講演



郡市長より、「東日本大震災からの復興と安全安心な観光の推進」をテーマに基調講演を行いました。

講演では、本市における観光レジリエンスの向上に資する取り組みとして、東日本大震災からの復興の歩みをはじめ、震災の経験を踏まえた防災環境都市づくりや、東部海浜エリアの新たな賑わい創出に向けた取り組み、危機管理マニュアルの整備等を各国および関係機関に紹介しました。

□ 二国間会談(観光庁実施)

閣僚級会合に合わせ、観光庁と参加国代表による二国間会談が実施されました。

5. 公式行事①－シンポジウム(観光庁、UN Tourism駐日事務所主催)－



日 時: 11月9日(土) 14:00～17:00
 会 場: 仙台国際センター会議棟「萩」
 主 催: 観光庁
 UN Tourism駐日事務所
 参加者数: 会場 約100名(他、オンライン配信あり)

観光分野における災害対策の事例等を共有し、観光レジリエンスの重要性の再認識と具体的な取り組みの実践を促進することを目的にシンポジウムが開催されました。

地元からは、高橋副市長による開催地挨拶のほか、(公財)仙台観光国際協会や東北大学災害科学国際研究所等がパネリストとして登壇し、仙台における観光危機への備え等について発表がありました。

プログラム	
● 開会挨拶	<ul style="list-style-type: none"> 観光庁観光政策特別研究交渉官 村上 強志 氏 世界観光機関(UN Tourism) 持続可能な観光及びレジリエンス部長 Dirk Glaesser 氏 仙台市副市長 高橋 新悦
● 基調講演	<p>「地球のレジリエンス(強靱性)向上のために－仙台防災枠組の実施と観光レジリエンス－」</p> <p>国連防災機関(UNDRR)駐日代表 松岡 由季 氏</p>
● パネルセッションⅠ	<p>「観光危機発生時への備え－観光客・旅行者の安全と安心を確保するために必要なこと－」</p> <p>モデレーター: 観光レジリエンス研究所代表 高松 正人 氏</p> <p>パネリスト:</p> <ul style="list-style-type: none"> PATA 持続可能性及び研究部長 Pavnesh Kumar 氏 国土交通省気象庁仙台管区気象台気象防災部長 塚本 尚樹 氏 (公財)仙台観光国際協会理事長 結城 由夫 氏 和倉温泉加賀屋支配人 道下 範人 氏
● パネルセッションⅡ	<p>「危機後の事業継続と復興への備え－観光地・観光事業者への影響を最小限にするために必要なこと－」</p> <p>モデレーター: 観光レジリエンス研究所代表 高松 正人 氏</p> <p>パネリスト:</p> <ul style="list-style-type: none"> (公社)日本観光振興協会常務理事 内山 尚志 氏 東日本旅客鉄道(株)マーケティング本部 くらしづくり・地方創生部門長 沢登 正行 氏 東北大学災害科学国際研究所教授 丸谷 浩明 氏 カリブ地域災害緊急管理機関(CDEMA) JICAカリブ地域総合防災アドバイザー 松村 直樹 氏
● 閉会挨拶	UN Tourism 駐日事務所 副代表 大宅 千明 氏

5. 公式行事②－歓迎レセプション－



日 時：11月9日(土) 19:00～21:00
 会 場：佐勘「辻が花」(代表者)、「松雲」(随行者)
 主 催：仙台市
 参加者数：代表者会場 41名、随行者会場 30名程度

【プログラム】

- 開会挨拶 郡 和子 仙台市長
- 乾杯挨拶 絳川 直也 観光庁長官
- 仙台フィルハーモニー管弦楽団による演奏
- 和太鼓演奏
- 仙台すずめ踊り演舞、体験
- 閉会挨拶 橋本 啓一 仙台市議会議員

歓迎レセプションでは、仙台・東北の旬の食材を用いた料理や地酒、震災からの復興に尽力した仙台フィルハーモニー管弦楽団や伝統芸能により魅力を発信しました。仙台すずめ踊りでは、参加者に踊りの体験をお楽しみいただき、終了後には演者と記念撮影を行うなど好評を得ました。

【メニュー】

会合期間中における他の食事の機会とのメニュー重複を避け、地元の食の魅力を効果的にアピールするため、観光庁等と調整を行いました。
 また、食事制限のある参加者には、個別に特別メニューを用意しました。

代表者会場(正餐形式)

- | | |
|----|--|
| 料理 | <ul style="list-style-type: none"> ● 東北の彩り -フードアート- 海老の山椒オイル和え 帆立の燻製 大根 胡瓜 紅心大根 ラディッシュ 紫芋 紅はるか 渦巻きビーツ 豆腐ペースト ひよこ豆 青えんどう豆 赤いんげん豆 マイクロリーフ マイクロトマト エディブルフラワー 玉葱ドレッシング ● 蕪のすり流し 甘鯛松笠焼き 焼玉ねぎ 仙台雪菜 柚子 ● 三陸塩竈ひがしもの(鮎) みやぎサーモン ● 三陸産 鮑とフカヒレのステーキ ● 牛たん旨煮 蓮根 里芋 花人参 ブロッコリー ● 柚子窯焼き 宮城県産牡蠣のオイル漬け ● 宮城県丸森町産 無花果の揚げ出汁 ● 飾り寿司 三陸塩竈ひがしもの(鮎) 真鯛 木耳の佃煮胡麻巻き 豆苗のカラスミロール ● 秋の実り 和パフェ 柿 和栗 メロン 和栗アイス あんこ 米菓子 シリアル 煎餅 生クリーム 黒蜜 他 |
| お酒 | <ul style="list-style-type: none"> ● ワイン：Yama Sauvignon 2022、Chardonnay 2023(秋保ワイナリー)、嘉-yoshi- スパークリング ロゼ ブリュット(高島ワイナリー) ● 日本酒：純米吟醸 Pulito(山和酒造) ● ウイスキー：伊達(ニッカウヰスキー) 他 |



随行者会場(着席ビュッフェ形式)

- | | |
|----|--|
| 料理 | 牛たん、焼き三角油揚げ、餅湯葉と仙台雪菜の餡かけ、
亘理荒浜水揚げしじみラーメン、のつけ寿司、鰹の叩き、
天婦羅、焼き鯖とセリのお浸し、フカヒレスープ、
仙台金時のスイートポテト 他 |
| お酒 | 日本酒：わしが國(山和酒造)、
ワイン：Akiu Merlot 2021(秋保ワイナリー) 他 |



5. 公式行事③－歓迎レセプション－



郡和子市長 開催地代表挨拶



嵯川直也観光庁長官 乾杯挨拶



歓談の様子



歓談の様子



仙台ずめ踊り



仙台フィルハーモニー管弦楽団



和太鼓演奏



仙台ずめ踊り体験



橋本啓一仙台市議会議員 閉会挨拶

5. 公式行事④－昼食会(観光庁主催)－



日時: 11月10日(日) 12:30～14:00
会場: 仙台国際センター 会議棟「桜」
主催: 観光庁

【プログラム】

- 開会挨拶 齊藤 鉄夫 国土交通大臣
ゾリツツァ・ウロセヴィッチ UN Tourism 上級部長
- 乾杯挨拶 郡 和子 仙台市長
- 奥州・仙台 おもてなし集団 伊達武将隊パフォーマンス
- 「まゆかり」(仙台出身の姉妹ユニット)による津軽三味線の演奏
- 東北観光PR動画放映
- 閉会挨拶 萩川 直也 観光庁長官

【メニュー】

代表者用(正餐形式)

- 山形県産『最上鴨』(合鴨)のローストとテリーヌ
- 宮城県石巻産『鯖』と青森県産『スルメイカ』のアクアパッツァ
- 塩麴でマリネした『仙台牛』の炭火焼き黒酢ソース
- 宮城県産『銀鮭』の宮城名物『はらこ飯』
- 青森県産『りんご』のコンポート 他



乾杯酒
「一ノ蔵 発泡清酒 すず音」

随行者用(着席ビュッフェ形式)

福島県 郡山 鈴木農場から届く野菜のサラダ 仙台味噌ドレッシング、
秋田県産『比内地鶏』と仙台伝統野菜『仙台曲がりねぎ』のプロシエツト、
岩手県産『岩中豚』のコンフィ 青森県産『りんご』のキャラメリゼ、
『山形牛』で仕上げる山形芋煮、宮城県産『JAPAN X』と時季野菜の黒酢スブタ、
仙台名物『牛たん』入りチャーハン、山形県産シャインマスカットのタルト 他



5. 公式行事⑤ーエクスカーシオンー

昼食会終了後、一部の会合参加者は東北各地を訪れるエクスカーシオンに参加しました。

■ 半日コース

日 時: 11月10日(日) 午後

主 催: 仙台市

訪 問 先: 震災遺構 仙台市立荒浜小学校～JRフルーツパーク仙台あらはま～鐘崎総本店 笹かま館～仙台うみの杜水族館～秋保ナイトミュージアム

参加者数: 14名

(フィジー、マレーシア、パプアニューギニア、韓国、東ティモール)

□ 震災遺構 仙台市立荒浜小学校



震災当時、荒浜小学校に避難した経験を持つ現地ガイドによる案内のもと、被災した校舎を見学したほか、避難から救助までの証言をまとめた動画を視聴しました。



□ JRフルーツパーク仙台あらはま



旬のりんご狩りを体験した後、研修棟にて海浜エリアの事業者等から賑わい創出について説明を受けました。



□ 鐘崎総本店 笹かま館



地元の名産として有名な笹かまぼこについて、魚のすり身の成型から焼き上げまでを行う手作り笹かま、食品サンプルづくりのいずれかを選択して体験しました。



5. 公式行事⑥ーエクスカーシオンー

□ 仙台うみの杜水族館



復興を象徴する水族館にて、三陸の海を再現した大水槽の前で夕食会を実施しました。マイワシの群れが躍動的に泳ぐショー「Sparkling of Life」をご覧いただいた後、藤本副市長による乾杯の挨拶で会が始まり、和やかな雰囲気の中で仙台・東北の食をお楽しみいただきました。

【メニュー】

料理

- 合鴨の幽庵焼きと仙台雪菜のおひたし
- 気仙沼産メカジキのフリット タルタルソース添え
- 宮城県産森林鶏の有馬山椒焼きと仙台曲がりねぎ
- 石巻産ヒラメのカルパッチョ
- 仙台牛のビーフシチュー
- 寿司盛り合わせ(いか、すずき、宮城サーモン等)
- 仙台名物 麻婆焼きそば
- 仙台いちごを使用したクロカンブッシュ風 他



お酒

- ワイン：高畠醸造ブラン白辛口(高畠ワイナリー)、かみのやまカベルネソーヴィニヨン(サントネージュワイン)
- 日本酒：純米吟醸 浦霞禅(佐浦)、特別純米酒 一ノ蔵(一ノ蔵)
- ウイスキー：宮城峡、伊達(ニッカウヰスキー) 他

□ 秋保ナイトミュージアム(天守閣自然公園)



秋保石で構成された美しい日本庭園と秋限定でライトアップされた紅葉のなかを散策しました。当日は、天守閣自然公園によるおもてなしメッセージが岩に投影されました。

■ 1泊2日コース(観光庁主催)

日時：11月10日(日)～11日(月)

主催：観光庁

訪問先：岩手・宮城コース…世界文化遺産平泉(岩手県)、松島(宮城県)他
宮城・福島コース…仙台城跡(仙台市)、鶴ヶ城(福島県)他

